# さいたま支部連



〒330-0853 埼玉県さいたま市大宮区錦町682番地2 JACK大宮 TEL:048-647-0011 FAX:048-647-0066 さいたま市宇宙劇場内事務局(齊藤・小田・佐々木・椎原)

http://www.ucyugekijo.jp/

#### 【2月の活動予定】

活動日	場 所・時刻	活動內容等
		O「ゴム・レーシングカーを遠くまで走らせよう!!」 低・中プログラミング
	宇宙劇場	・プログラミングキット「 <b>アピタ―</b> 」で <b>ゴム・レーシングカー</b> を作ってどれだけ遠くまで走らせ
	第1・2集会室	ることができるか挑戦します。ゴムを変えると遠くまで走るか?歯車を変えると遠くまで走る
2月	A 講座 10:00~	か?もしかしたらタイヤを変えてみたら遠くまで走るかもしれない!?
		みんなの想像力を働かせて遠くまで走ることのできるゴム・レーシングカーを考えてみよう!
12日	B講座 13:00~	参加対象: 1年生~4年生
(±)		各講座の定員:10名
	C講座 15:30~	申し込み: 2月6日(日) までに。
	※活動時間、各講座とも	申し込み方法:メールのみ
	2時間弱	※活動講座が決まり次第、事務局からメールにてご連絡します。
		宛先(さいたま支部事務局※本活動の申し込み専用です。): <u>yac.saitama@goto.co.jp</u>
		内容:①参加団員名 ②希望講座※第2希望まで

※埼玉県では、1月19日に新型コロナウイルス対策本部会議を開き、「まん延防止等重点措置」を1月21日から2月13日まで適用したことに 伴う県の感染防止の取り組みを決めた。これを受けて、日本宇宙少年団さいたま支部では、感染防止対策を徹底し、通常活動ができるように活動 の工夫をしてまいりたいと思います。但し、今後の感染状況次第では、活動が中止、延期等となる場合もありますので、活動に参加する場合は、 直前に必ず HP や LINE をご確認ください。

## 〇「川本河原の化石採集」1月9日(日)

今年も川本河原で化石採集を行ってきました。小川 分団長、神田リーダー、事務局2名、団員15名、保 護者等16名の総勢35名が参加しました。

天神グランドで小川分団長から化石採集や安全につ



いてご指導がありまし た。グランドを11時頃 出発し、河川敷を歩いて 11時30分頃に化石 採集の現場に到着しま した。ハンマーとたがね

を持ち、さあ、いよいよ化石採集です。「化石が見えて いるのになかなかうまく取れない」「あ一割れちゃっ た。」団員達が悪戦苦闘している側で白鳥が羽を休め ていました。時々、用事を思い出したように団員たち の頭上を白鳥がバタバタと飛んでいきます。河原は、



人間と白鳥で大賑わいです。 12時を過ぎ、活動の終了 時刻になっても、団員たち は化石採集をやめません。 小川分団長に促されてやっ

と1時前に活動を終了しました。団員達は、貝の化石 を大事に抱えながら帰途につきました。今年は、天気 に恵まれ温かい絶好の化石採集でした。ご指導いただ きました小川分団長ありがとうございました。



## ★「サイエンスショー&お楽しみ会」

年末恒例の活動が12月12日(日)に開催されました。団員36名、保護者等52名、計88名が参加しました。

前半は、青少年宇宙科学館の阿部順行先生によるサ



イエンスショー「空気と真空」を行いました。団員た ちが関心を示した実験は、

「ものの膨張実験」でした。 風船が大きくなったり、縮

んだりしてびっくりしていました。



中盤は、神田リーダーの 「黒の科学実験」です。黒の アクリル塗料を塗った「球 体」と普通の折り紙の「円」 を見て、区別がつかないこ

とにびっくりしました。その後、実際に光吸収率99. 2%の塗料をピンポン玉に塗り、黒すぎて見えないといわれる塗料の威力を体感しました。



最後は、サブリー ダーたちによる 惑星のスパイラ ル運動の模型作 りでした。みんな

でスパイラルする模型を切り抜き、実際に飛ばして遊びました。 うまくスパイラルする模型があったり、へんな方向に飛んだりしてお

もしろい活動でした。活動終了後、お菓子と景品をい ただき、今年のサイエンスショーも終了しました。

ご多忙の中、サイエンスショーの実験を行っていた だきました阿部先生、リーダーの皆さんありがとうご ざいました。

## ☆2月の星空カレンダー

- 1日 新月
- 8日 上弦
- 11日 建国記念の日
- 13日 金星最大光度
- 17日 満月、水星西方最大離角
- 23日 天皇誕生日
- 24日 下弦

#### ~ドウガネブイブイvsアオドウガネFiNAL~

第31回 夏休み昆虫研究大賞 金 賞 埼玉県小中学生科学コンクール地区展 優秀賞

団員の中島 喜之介さんが6年間にわたって研究した 昆虫の研究成果が認められ、令和3年度夏休み昆虫研究 大賞金賞、埼玉県小中学生科学コンクール優秀賞に選ば れました。中島君の研究は、街灯に集まる虫の種類の研 究から始まり、その後、昆虫を絞り、6年間にわたって 研究を続けた長期間の大作です。

中島君によると『「研究内容は、「ライトトラップという、夜に白熱灯とブラックライトを白い布にあて、灯火 に飛来する虫をカウントすることを六年間続けました。



そこでよく集まる 虫に**ドウガネブイ ブイ、アオドウガネ** がいます。ドウ ガネブイブイは 固有の種であ

り、アオドウガネは九州以南に生息している虫です。最近アオドウガネが温暖化によって北上しています。僕はこの2種類の埼玉県の分布調査をしました。調べ方は、埼玉県内のコンビニを県内くまなく夜に訪れ、ドウガネブイブイとアオドウガネの調査をしてまとめました。とにかくコンビニの数は多いし大変時間がかかった研究です。今後この研究がどういう方向にいくかまだ分かりませんが、とことん調べていきたいと思います。』(中島 喜之介談)



#### 〇令和4年3月の活動予定

3月 5日 (土) 電子工作 低・中学年 14:00

13日(日)運営会議 14:00

29日(火)自然観察会 秩父方面